

横浜市歴史博物館等指定管理者選定評価委員会第3期第2回中間評価（令和4年度） 第2回委員会会議録	
日 時	令和4年12月1日（木） 14時00分から15時45分まで
開 催 場 所	横浜開港資料館 講堂
出 席 者	澤野委員、末崎委員、田中委員、松本委員、吉田委員長
欠 席 者	相澤委員、薄井委員、梅田委員、桧森委員
開 催 形 態	公開（傍聴者なし）
議 題	（1） 指定管理者による事業説明 （2） 事務局に対する質疑応答 （3） その他
決 定 事 項	（1） 指定管理者が事業説明を行い、その後質疑応答を行った （2） 事務局に対する質疑応答を行った （3） 特になし
議 事	<p>1 開会・あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任委員を事務局より紹介した。</li> <li>・ 出席者が過半数を満たしているため、この委員会が成立することを確認。</li> <li>・ あいさつ</li> </ul> <p>2 議事</p> <p>（1） 指定管理者事業説明・質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者による事業説明</li> <li>・ 事業説明に関する質疑応答</li> </ul> <p>（末崎委員） パワーポイント資料右上の「補助金を利用」「自己資金」とあるがこの違いは何か。自己資金とは、財団が負担するということか。</p> <p>（指定管理者） 拠点計画の中の各事業について、国費（補助金）を利用するものと、財団の負担（自己資金）で行う事業に分けて記載している。</p> <p>（澤野委員） クラウドファンディングについて、収支状況の表の中ではどこに位置づけられるのか。また、返礼品や広報などについて教えてほしい。</p> <p>（指定管理者） クラウドファンディングの返礼品は、例えば「横浜の大名」という展示の際は、学芸員から直接展示の解説を受けられる権利やオリジナルグッズを用意した。スタチューミュージアムでは特定のスタチューと写真撮影ができる権利などを返礼品とした。</p> <p>クラウドファンディングの手法については、民間の専用サイトを活用して行っている。また、収支状況報告書上は、クラウドファンディングの支援金額は「寄付金収入」の欄に計上している。</p> <p>（田中委員） 収支状況報告書について、令和3年度の事業費（支出）が突出して5000万円くらい増えている。理由は何か。</p> <p>（指定管理者） 開港資料館の文化観光拠点計画について、令和3年度から文化庁の</p>

補助金交付決定を受けている。約7,000万円の総事業費に対し、5000万円程度の補助金を受けた。

(吉田委員長) 収入欄のどこに5000万円の補助金が含まれているか。

(指定管理者) 「その他事業収入」に記載される。

令和3年度事業は新型コロナウイルス感染症等の影響により、一部資材の納品遅れなどが生じ、事業自体を令和4年度に繰り越している。そのため、まだ令和3年度分の補助金は受領できていない。一方で、令和3年度中にも事業の一部は進めているため、支出には計上されている。

(田中委員) では、令和4年度中に令和3年度分の補助金5000万円が入ってくるといふことか。

(指定管理者) そのとおりだ。交付決定自体は令和3年度、4年度とも行われているので、事業完了次第国から支払われる見込みだ。

(松本委員) 事業に関する取り組みについて、刊行物ほどの程度配布、公開、寄贈などしているのか。

(指定管理者) 施設ごとに異なるが、例えば歴博では、調査研究報告、紀要、資料目録に関しては令和3年度までは全国の博物館や横浜市内の図書館など約500か所へ配布していたが、令和3年度の終わりからはPDFデータの公開を始めた関係で、実物の配布は100か所程度にとどめている。

(松本委員) インターネットで自由にみられるということか。

(指定管理者) ほぼ同じものをネットでご覧いただける。

(松本委員) 将来的には紙媒体を減らして電子データに移行していくということか。

(指定管理者) そのとおりだ。

(松本委員) そのような傾向の中でデジタルアーカイブプラットフォーム化も検討されていると思うが、一般の閲覧者から見やすい、検索しやすい工夫はされているか。

(指定管理者) デジタルアーカイブ化については、まずは開港資料館の所蔵資料を中心に開発を進めている。開港資料館の拠点計画に基づく事業のため、文化観光に資するという目的で作っており、いわゆる研究者の方が利用者を中心になるものではなく、一般の方でも画像や簡単なキーワードから探したい資料にたどり着けるようにという観点で主に画面デザインの開発を進めている。

そのようなデジタルアーカイブプラットフォームと、調査研究報告や紀要のPDFデータの紐づけ作業は次の課題になってくると思うが、親しみやすく使いやすいものを、という観点で開発を行っている。

(松本委員) 空調の故障については、収蔵庫の空調も含まれるのか、所蔵資料への影響が心配される。

(指定管理者) 収蔵庫の空調も含めて故障が出ている。収蔵資料への影響が大きな

課題で、家庭用除湿器などを導入して応急措置としている。完全に壊れているわけではないが、散発的に不具合が起きる状況。財団としてできる対応は工夫して行い、資料への影響を抑えているところ。

(松本委員) 根本的な対策は難しいのか。

(指定管理者) 令和5年度に横浜市教委の予算で都発・ユ文の空調機更新工事が予定されている。市教委も動いてはくれているが、各館で老朽化が進んでいるため突発的な問題にはなかなか対応しづらい状況。

例えば都市発展記念館では、今年度の夏場の企画展については、空調機不具合による湿度の問題があったため他館からの資料の借入を控え、財団内の所蔵資料を使ってできる企画展を行った。

(末崎委員) 10年間の目標設定について、見直しは行っているか。

(指定管理者) 文化的コモンズの形成を10年間の目標として掲げたが、やはり新型コロナウイルス感染症の影響で、目標設定した時点とは社会状況が大きく異なってきている。特に当初の目標では、もっと国際的視点で、横浜の歴史について周知できる取り組みを進めるといったことも考えていたが、その点ではコロナ禍を受けてのオンラインツールを利用した周知という方向に微修正している。インバウンドが相当少ない状況なので、そういったところは少し変化が生じてきているかと思う。

ただ一方で、拠点計画などでは文化庁からの支援もいただき、今後のインバウンドも含めた文化観光拠点化を進めているところだ。そういった意味では、少し影響を受けているとはいえ、10年間の目標を取り消すほどではないと考えている。

(末崎委員) 拠点計画の中の関係施設に、開港記念会館は入らないのか。

(指定管理者) 開港記念会館は博物館ではなく、中区の公会堂という位置づけなので拠点計画には含まれていない。

(末崎委員) 設備老朽化について松本委員からも指摘があったが、開港資料館と都発・ユ文は開館時期が異なるのに同じ時期に故障が出ている。設計者や建築業者の言いなりで作ってしまっていて、10年足らずで不具合が出る、などということもありえなくはない。展示手法など考え方を変えていくべきところもあるのではないかと。そういうところも今後よく考えて進めてもらいたい。

(吉田委員長) 図書受け入れの制限について、単純な収蔵スペース不足だけが理由なのか。

(指定管理者) 収蔵スペースの問題もあるが、例えば市内の図書館で閲覧できるものをあえて博物館施設で所蔵する必要があるか、といった観点も入れて受け入れの在り方を議論していきたいと考えている。

(吉田委員長) SNSアクセス状況の表について(パワーポイント25p)、ユ文で87

	<p>万のアクセスを記録した月があるが、スタチューミュージアムが関係しているのか。</p> <p>(指定管理者) オホーツク展などの企画展がニコニコ美術館という動画サイトに取 り上げられたり、東京新聞が共催でPRしてくださったり、企画展の 動画配信で急激にアクセス数が増えた経過がある。</p> <p>(吉田委員長) アクセス数の増加で何か良い効果が出たか。</p> <p>(指定管理者) 入館者数が増えたほか、オンラインショップでの売上げが伸びた。</p> <p>(澤野委員) 三殿台について、コロナ禍でも入館者数が増えているにもかかわらず、 トイレや野外活動スペースがかなり老朽化している。市役所直営ではな く、指定管理者が管理している施設なので、指定管理者独自の工夫でな んとか使いやすくできないのかと感じた。液晶画面がつかないものにつ いても、リースなども検討して、できるだけ安価で解決できる方法を探 っていただきたい。</p> <p>(吉田委員長) 指定管理者の自己評価でも、施設については3がついている。問題 意識の表れだろう。</p> <p>(2) 事務局に対する質疑応答 事務局に対し、質疑応答が行われた。</p>
<p>配布資料</p>	<p>(1) 第1回選定評価委員会会議録</p> <p>(2) 評価シート(指定管理者記載済)</p> <p>(3) 補足資料(10年間の実施事業と予算に関する一覧/指定管理収支状況)</p> <p>(4) 指定管理者に係る参考資料(業務の基準/事業計画書/事業報告書/収支予 算書/決算報告書)</p>